

2021 年度事業報告

【第6期】

《2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日》



一般社団法人 福岡ねこともの会



一般社団法人福岡ねこともの会

2021年度 事業報告(第6期)

はじめに

2020年の春先に発生した新型コロナウイルスが猛威を振るい、なかなか「終わり」が見えない1年となりましたが、無事に第6期を終えることができました。

今年度も昨年度同様、様々な制限により当会の活動を縮小せざるを得ませんでした。当会だけでなく、社会全体がみな同じ状態ではあるものの、これまでは毎年参加していた秋の各種イベントも、中止やオンライン開催など、人の活気を直で感じるような形では開催されず、当会としても満足のいく啓蒙活動を行うことができませんでした。しかし、主要事業の1つである譲渡会は無事に年間5回開催することができ、また、相島での活動も島民の方々や他団体の皆さん、ボランティアスタッフの皆さんと一丸となって滞りなく進めることができました。

「継続は力なり」という言葉がありますが、任意団体の頃から数えて14年、地道に動物愛護啓蒙活動を行ってきた中で、以前は野良猫と言われていた猫たちが、地域で見守られるべき存在である地域猫として地域の皆さんに少しずつ浸透してきているのを感じられるようになりました。

しかし、猫の虐待や猫に関わるトラブルは思うようには減ることなく、今年度も可能な限り解決に向けて尽力して参りました。いつか動物愛護の精神が我々に根付き、悲しい事件やトラブルが起こらない、優しい世界となることを願い、活動を継続いたします。

毎年ご好評いただいておりますオリジナルカレンダーの「ねこともカレンダー」は、猫だけでなく人も幸せになってほしいという願いを込めて、今年度も障がい者支援事業所さまに印刷及び発送を依頼しました。また、昨年度より販売を開始したオリジナルTシャツの製作販売も行っております。ご購入いただきました皆様に感謝し、代金は保護猫の医療費や愛護啓発活動資金とさせていただきます。

当会はこれからも虐待や殺処分0社会の実現を目指し、邁進する所存です。これからも皆様のあたたかいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表理事 城 恭子

1. 地域猫推進活動

○相島支援事業○

令和1年5月より支援を開始した福岡県新宮町相島での活動ですが、なかなか終わりの見えない新型コロナウイルスの影響の中、島民の方々協力もあり滞ることなく活動を続けることができました。

今年度の支援回数は19回、昨年度より**通算93回**の支援を行っております。

○相島事業に関する活動記録（2021年4月～2022年3月までの活動）

月	訪問回数	活動内容
4月	4回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
5月	3回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援 猫の捕獲し、手術のため筑後病院を訪問（どうぶつ基金と協働）
6月	3回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援 手術のため筑後病院を訪問（どうぶつ基金と協働）
7月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 骨折した猫他2匹を保護・治療・里親探し
8月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
9月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
10月	2回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
11月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
12月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
R4年 2月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
3月	1回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む）
合計	19回	

今年度も、一昨年から行っている猫たちへの給餌、清掃活動、フード支援、投薬を継続して行いました。当会の呼びかけでもフード支援が届き大変助かっています



◎当会より支援フードを船で運搬

また、TNC（テレビ西日本）より当会の相島での活動について取材を受け、活動の様子が6月2日の「ももち浜S 特報ライブ」で放送されました。



◎どうぶつ基金さんと協働で相島一斉後の捕獲もれの猫の保護



← ◎手術が終わった猫を相島でリターン



◎リターンのお手伝い会員さんと

◎どうぶつ基金筑後病院にて
ボランティアスタッフさんとー



○その他の地域猫推進活動

当法人は、先行型 TNRM 行っております。地域で話し合いのもと進める地域猫活動は決定するまでに時間がかかることが多く、繁殖力の強い猫は次々と不幸な命が生まれ管理が困難になるために先に不妊・去勢手術を行い・決まった時間に餌やり・糞尿処理を行い地域猫活動に移行出来るように努めてます。飼い主のいない猫たちに繁殖制限を行うことは、その後に管理しなければ、猫は縄張りの中で生きていく動物なので餌をもとめてゴミ荒らし、フン尿の後始末をしなければ、猫たちが地域の問題になってしまいます。後、捕獲する前は近隣にお知らせをして、飼い猫が間違っ捕獲されないようにチラシを配布し注意しています。不妊・去勢手術を行い、管理することで、飼い主のいない猫とのトラブルは減っていきます。決して、餌やるなどは解決しません。逆に悪化するだけになります。飼い主のいない猫は、人間が管理していかなければならない愛護動物です。野生動物ではありません

大野城市000丁目00番付近の皆様へ
飼い主のいない猫に不妊・去勢手術をします
繁殖を防ぎ、一代限りの命になり飼い主のいない猫を減らしていきます

0月0日(木)~0日(金)に、
手術のための捕獲作業を開始します

- ① 上記の日時には飼い猫を外に出さないでください(外に出している飼い猫を間違っ捕獲して不妊去勢手術しても責任は負いません。ご了承ください)
- ② 手術済の猫には、耳先をVカットします
- ③ 捕獲の妨げになりますので、上記該当期間中は当該猫へのえさやりはご遠慮ください

TNRM とは

捕獲し、不妊去勢手術をし、元の場所に戻し、管理します(「TNRM」)といいます

対策の効果

- ☆不妊・去勢手術を行うことで、飼い主のいない猫が増えません
- ☆発情期の鳴き声が無くなり、ケンカや強烈な臭いの臭気も減少します
- ☆ゴミ漁りなどがなくなり環境保全につながります

活動内容

- ① これ以上増えないように不妊去勢手術をする
- ② 時間と場所を決めたエサやり(置きエサはしません)
- ③ トイレの設置・フン尿の後始末



②捕獲した飼い主のいない猫たちを病院に連れて行く

① 地域へ捕獲する日程をお知らせして
飼い猫が捕獲されないように注意する



耳カットを確認



③手術を終え麻酔が覚めるまで安静にする

④手術が終わり1日様子を見た後、リターンする

2. 保護猫の譲渡会

大野城市と連携し、大野城まどかぴあ北玄関にて保護猫の譲渡会を開催いたしました。コロナ禍2年目のさなかの開催はなかなか厳しい状態ではありましたが、無事に5回開催することができました。



今年度の譲渡頭数は **20 匹、累計 723 匹** になります。譲渡会開催のお知らせは、大野城市の広報「大野城」に掲載され、同市のホームページでも告知されています。



◎譲渡会にて、里親さまを待っている猫たち

★保護猫の譲渡会開催回数と里親決定頭数(2021年4月～2022年3月迄)

開催日	場所	参加猫頭数	面会予定数	里親決定頭数
①4/10(土)	大野城 まどかぴあ 北玄関前	9	0	0
②6/26(土)		6	0	0
③7/24(土)		4	1	1
④10/23(土)		11	5	5
⑤11/27(土)		6	2	2
⑥その他	ネット他		12	12
合計 (延べ数)	5回開催	36匹	20匹	20匹

* 里親決定頭数は譲渡会以外での決定数も含まれます

3. 不妊・去勢手術推進活動

今年度の飼い主のいない猫に対する**不妊、去勢手術**を施した頭数は**40匹**でした。当会の活動開始から合計で**911匹**になります。



公益財団法人どうぶつ基金さんの福岡の病院などを使うことで、**40匹**の不妊去勢手術を行うことができました。

今後も、不妊去勢手術の推進に努めて参ります。



4. 動物愛護啓発活動



昨年から続く新型コロナウイルスの影響によりイベントが次々と中止され、活動を制限される中で、無事に譲渡会とパネル展を開催することができました。

今年度は、毎年開催されているまどかフェスティバルがオンラインで開催されましたので、当会の活動紹介や啓発活動を画像データなどでみなさんにお届けしました。

○イベント活動記録

	開催日	イベント名	場所
①	4/10(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
②	6/26(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
③	7/24(土) 7/31(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会） アスカラまつり	大野城まどかぴあ北玄関
④	10/23(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
⑤	11/6(土) ～7(日)	大野城まどかフェスティバルオンライン	大野城市 ホームページ上
⑥	11/27(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関



◎アスカラまつり



◎譲渡会場にパネル展示



◎R3/11/1発行

男女平等推進センター アスカラ
(まどかぴあ 3階)の壁面新聞



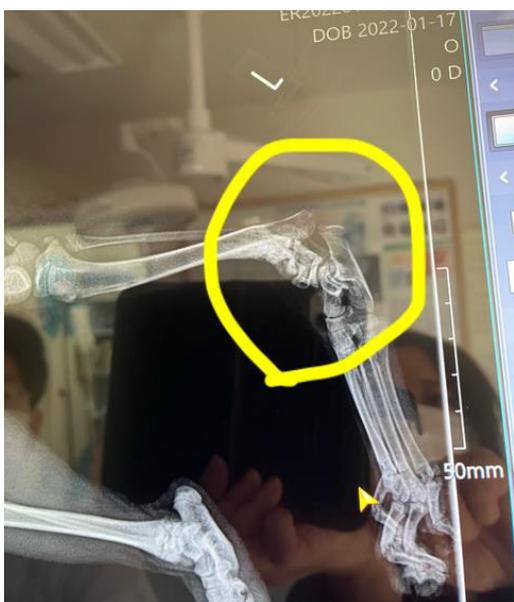
◎バザーと動物愛護啓発パネル展示

5. 猫の相談に関する活動

今年度も、各地で様々な猫に関する相談が寄せられました。特に猫の虐待に関する相談は後を絶たず、目を背けたくなるような痛ましい事件が多発しております。

また、赤ちゃんねこの保護依頼や、飼育に関する相談が数多く寄せられました。

●人が全く居ない山奥に人慣れした猫が捨てられていた事案



◎保護した後に、歩き方がおかしかったので病院に連れて行くと骨折していました



◎保護当時、全身に及ぶ猫疥癬と沢山のノミに寄生されてボロボロの状態でした



◎血液検査より、猫エイズ陽性が判明しました。
今は、里親の元で幸せに暮らしています

当会は、一般の方からの飼い主のいない猫の引き取りやシェルター事業は行っておりません。相談者の方から相談内容に対しアドバイスさせていただくのみで、実際の行為は相談者様に責任をもって行っていただきます。

◎会員外からの相談対応件数 (2021年4月1日～2022年3月31日)

◎メール 720件 ◎電話 46件 ◎フェイスブック 37件 ◎合計 803件

6. その他の活動

(1) オリジナルカレンダーなどの製作販売

毎年秋頃から12月にかけて、新しい飼い主さんと幸せになった保護猫と、地域猫たちをモデルとしたオリジナルカレンダーを販売しました。販売は、提携書店さん、当会員さんやイベントにて、皆様にご協力いただきました。

また、昨年から販売を始めたオリジナルTシャツも、ご好評いただいております。



2022年版ねこともカレンダー

★ねこともカレンダー販売店

≪書店≫

◎積文館書店 6店舗

(新天町本店・大野城店・小田部店・シュロアモール店
・ゆめタウン筑紫野店・アクロスモール春日店)

≪協力会社・店≫ (順不同)

◎西部ガス絆結(株) ◎プティウルス ◎オリオン

◎かなた整骨院



≪動物病院≫ (順不同)

◎サンバレー動物病院 ◎いとう動物病院 ◎オーク動物病院

◎さくらねこ動物病院 ◎オアシス動物病院

★メディアによる紹介



◎西日本新聞

2021年10月22日(金)に当会の活動が朝刊記事にて紹介されました

◎西日本新聞



←【2021年11月9日(火)付西日本新聞】

今年も、ねこもカレンダーの紹介が朝刊に記事が掲載されました



◎FBS めんたいワイド



2021年(令和3年)11月16日のめんたいワイドにて、当会の活動とカレンダーが紹介されました



(2) 募金活動

活動資金獲得の一環として、毎年バザーなどに参加し、募金活動も行っておりましたが、今年度は譲渡会やパネル展での活動のみとなりました。

●募金額 (現金のみ、譲渡会等イベントでの募金、寄付を含む) 784,396 円

(3) 定例会・運営委員会

◎定例会 1回開催

会員間で様々な情報の交換・共有の場であり、日々発生する問題について話し合いました。

*新型コロナウイルスの影響により、今年度も縮小して開催しました。



●R3/10/15(金)大野城まどかぴあ アクティブルームにて

(4) 特定外来種防除認定について



九州農政局・九州地方環境事務所より、特定外来種防除の認定（令和3年9月16日付）を受けました。

特定外来生物の種類 アライグマ
カニクイアライグマ
防除の区域 福岡県全域
駆除の期間 令和3年9月16日から
令和13年3月31日



◎2021年5月7日に熊本九州地方環境省と九州農政局に防除認定の申請書の提出に伺いました

捕獲器による、違法捕獲の被害に猫があうことが多いため環境省と農林水産省より直屬に資格を取得することにより、違法捕獲を取り締まることができるようになりました。当法人主催の講義を受けた後に、防除認定の厳正な試験を行い、8名が合格となりました。

(5) クリスマスケーキを児童養護施設へ50年間届けるプロジェクト

2018年より参加を決めた当プロジェクトは、今回で3回目の参加となりました。

今年は、2施設にクリスマスケーキとリクエストのあったボールをプレゼントとしてお届けしました。



◎芦屋にクリスマスケーキを取りに行き、遊具とケーキを北九州市の2軒の施設に持っていきました。



◎施設スタッフの皆さんと

7. 会に関すること

(1) 活動報告掲載

- ◎ホームページ <http://qwer.jp/fnekotomonokai>
- ◎フェイスブック <http://www.facebook.com/fukuokanekotomonokai>
- ◎メールアドレス fukuokanekotomonokai@yahoo.co.jp

(2) 各種登録・加入団体

- ①第一種動物取扱業者 登録番号 第 4059100201 号
- ②大野城まどかぴあ男女平等推進センター市民グループ活動支援 登録
- ③商標『ねこもの会』登録番号 第 5901395 号
- ④福岡県地域猫推進サポーター（推進員として会員 3 名登録）
- ⑤特定外来種防除認定（環境省・農林水産省）

(3) 活動記録（2021年4月～2022年3月末まで）

	頭数	備考
譲渡した猫	20匹	合計 723匹
不妊・去勢手術	40匹	合計 911匹
TNRM・地域猫管理頭数 (3月末現在)	113匹 (17ヶ所)	大野城市 38匹 (6地区) 春日市 31匹 (4地区) 太宰府市 7匹 (1地区) 筑紫野市 2匹 (1地区) 福岡市 35匹 (4地区)
猫の譲渡会開催	行政と連携で年4回	
動物愛護啓発活動	行政と連携で年6回	

オス

オス猫は右耳カット



メス

メス猫は左耳カット

